

大学進学にかかる費用 大公開!

子どもが志望する進路を
 選択できるよう、
教育資金は計画的に

子どもの成長は親にとって1番の楽しみです。一方で子どもにかかる教育費を心配に思われている方も多いのではないのでしょうか。この春県外の大学に進学した子どもを持つ県民せいきょうスタッフ Tが、大学の受験から入学までにかかった実際の費用を大公開!進学にいくらかかるのかをイメージすることで、早めの資金計画作成につなげていきましょう。

県民せいきょうスタッフ T
 2025年春、県外の大学に進学した子を持つ2児の父。2級ファイナンシャル・プランニング技能士の資格を持つ。

Ganbaranya編集室 K
 小学生と中学生の2児の母。将来の子どもの教育資金に不安を感じている。

大学の志望校選定までにかかる費用

Ganbaranya編集室 K (以下)

Tさんのお子さんは、2025年の春に県外の大学に進学されたんですね。

県民せいきょうスタッフ T (以下)

そうなんです。志望校に合格して嬉しい反面、こんなに費用がかかるのかと驚いています。

わが家も小学生と中学生の子がいるので、将来の教育費について不安を感じています。実際にどのくらいかかったのでしょうか。

入学後の4月の時点で、200万円以上かかりました。

受験から大学入学までにかかった費用 (Tさんの場合)		
支払い時期	詳細	金額(円)
志望校選定まで	オープンキャンパス参加など	100,000
受験時	共通テスト・私立大学・国公立大学 受験料	103,000
	交通費・宿泊費など	90,000
受験後	私立大学・国公立大学 入学金	542,000
	下宿先選定	200,000
	大学生協(大学生協加入・教科書代・共済加入・ミールシステムなど)	170,000
	家電・日用品・引っ越し代など	550,000
入学後	授業料(前期)	267,900
計		2,022,900

入学後の4月の時点でそんなに uitgaveがあるんですね! 何にどのくらいかかったのでしょうか。

あくまでもわが家の場合ですが、まずは大学の志望校を選定する費用です。わが家は、3校のオープンキャンパスに参加しました。県外の大学の場合、往復の交通費や宿泊費などがかかります。それ以外にも参考書や問題集のほか、塾や家庭教師などに費用がかかる場合もありますね。

受験前の志望校を選定する時期にかかる費用もあるというのは頭に無かったです。

共通テストから私立大学受験、
 国公立大学受験へ

志望校が決まり、いよいよ受験ですね。受験と言っても、推薦入試や一般入試などいろいろな方法があると思いますが、Tさんのお子さんはどのような方法で受験しましたか。

わが家は一般入試で受験しました。例年1月に共通テストが行われます。共通テストが終わるとすぐに私立大学の受験が始まります。私立大学は、大学によっては福井県内でも受験することができる場所もあるので、そういった場合は移動の負担はありません。

なるほど。私立大学は交通費や宿泊費をかけずに受験できる方法もあるんですね。

そうなんです。また、国公立大学を希望する場合でも、私立大学の入学金の支払いは必要です。入学を辞退した場合でもお金は戻ってきません。また国公立大学の2次試験の前期、中期、後期の受験手続きは、前期試験の前までに行います。中期、後期は、受験しない場合でも一度支払った受験料は戻ってきません。県外の大学を受験する場合は、近くのホテルなどで前泊することになります。志望校を決めたら早めに宿泊先を押さえておくといいでしょう。

4年間の生活を定める
 下宿探しは早めが勝負

受験が終わり、県外に進学する場合にはいろいろと出費がかさみそうですが、Tさんの場合はどうでしたか。

そうですね。進学先が決まったらすぐに新生活に向けての準備が始まります。県外の大学の場合、4年間の生活の拠点となる下宿先探しは重要です。最近、発表前に下宿先の仮押さえができる不動産会社も増えているんですよ。

合格発表の前にですか!それは知らなかったです。下宿先を決めたら、家具や家電も必要ですね。

必要なものは本当にたくさん出てきます。電気や水道、インターネット環境などの手続きも必要です。家具・家電付きの物件もあります。購入する場合は、価格も大事ですが4年間使うことを意識して購入することも大切です。

大学生協は大学生の強い味方

ひとり暮らしは親にとって心配事も多いですが、そんなときには大学生生活をサポートする「CO・OP学生総合共済」がおすすめです。けがや入院のほか、個人賠償責任保険なども付与された充実した保障です。また大学によってはミールシステム(食の定期券)という仕組みもあります。

そんなシステムがあるんですね! 学生にとっても親にとってもありがたいですね。

(※)大学生協が無い大学もあります

早い段階で子どもと一緒に話を

合格後、忘れてはいけないうちが入学金や授業料ですよ。

そうですね。入学金や授業料はまとまった金額になるため、あらかじめ準備しておくことをおすすめします。わが家の場合、入学金として私立も含め約54万円、1年生の前期授業料で26万7千円と、合計約80万円かかりました。

一気にそれだけの出費となると、やはりあらかじめ費用を準備しておく必要性を感じますね。ちなみにTさんは教育資金をどのように準備されたのでしょうか?

わが家は主に学資保険で準備をしました。12月に満期になったので、受験から入学の時期の出費に活用できました。

なるほど。学資保険の場合、満期の時期もあらかじめ確認しておいた方がよさそうですね。

そうですね。私は教育資金がかかることを想定してこれまでに準備をしてきましたが、今回実際に子どもの進学にかかる費用を目の当たりにして、改めて前もって準備しておく大切さを痛感しました。進路を選択する時期までに投資や財形貯蓄、学資保険などで計画的に教育資金を確保しておくことをおすすめします。

なるほど。子どもが小さいうちから考えておくことが大切ですね。

今回お話したことは、あくまでもわが家の場合の内容です。大学と言っても、私立か国公立かや学部によってもかかる費用は大きく異なります。また、専門学校などを希望されるお子さんもいらっしゃると思います。子どもが選択した進路は、親としては応援してあげたいですね。

そうですね。今回Tさんのお話を聞いて、いつ、何に、どれくらいの費用がかかるのかが分かったことで、私も自分事として具体的なイメージを持つことができました。入学以降も、4年間の授業料や、そのほかさまざまな出費が控えているのではと思います。わが家も経済状況を改めて把握して、早速子どもたちと進路の話をしたいと思います。Tさん、ありがとうございました。

お子さんが小さいうちから、お金のことや将来のことを親子で一緒に考えられるといいですね。LPA(ライフプランアドバイザー)の会では、下記の講座を開催予定です。この機会に、お子さんと一緒に、楽しくお金のことを考えてみませんか。

LPA(ライフプランアドバイザー)の会



子どものための金銭教育
 おこづかいゲーム



ボードゲームを使って、親子で楽しく遊びながらお金の大切さが学べます。お子さんとお金の話を始めるきっかけにしませんか。

時 7/29(火) 10:00~11:30
 所 ハーツ志比口 2F しいの樹ルーム
 講 LPA(ライフプランアドバイザー)の会
 対 小学2~6年生のお子さん
 定 8人(申込先着順)
 料 お子さんお1人につき100円(税込)
 申 コールセンターもしくはWEB

